

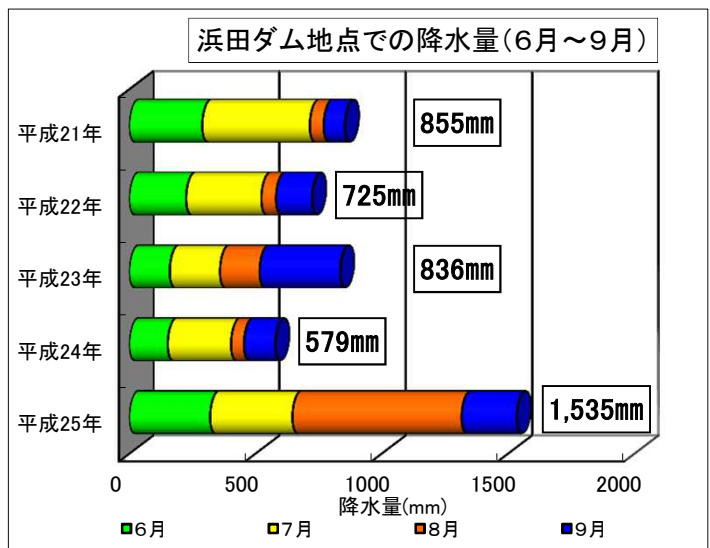
平成25年の洪水期を振り返って

浜田ダムでは、1年間のうち6月16日～9月30日を洪水期、10月1日～6月15日を非洪水期と区分して管理を行っています。洪水期には梅雨前線や台風が原因で大雨・長雨が降ることが多く、浜田ダムから放流を行うのはほとんどがこの洪水期です。昨年の8月には、昭和63年豪雨に匹敵する25年振りの大雨を記録しましたが、ダムの管理を適切に行うことができました。浜田川下流にお住まいの方々や浜田川を利用するの方々におかれましては、ダムの管理にご協力いただき、まことにありがとうございました。

☆降雨実績☆

浜田ダム地点では、平成9年の降雨以来16年振りに1,500mmを越える降雨（6月～9月の雨量合計）となりました。

特に8月23日の降雨は降り始めから24日にかけて542mmの総雨量を観測しました。また、8月23日夜の11時頃には1時間雨量68mmという激しい雨が降りました。



☆放流実績☆

平成25年はダムからの放流を6回行いました。その中でも8月24日に行った放流は130m³/sに迫る大規模な放流です。

放流年	放流日	最大放流量(m ³ /s)	総雨量(mm)
H21	6/22～6/23	16.13	122
	7/1～7/2	12.75	144
	7/20～7/22	30.46	120
	7/24～7/28	9.75	110
	8/3～8/4	6.84	3
H22	6/28～6/29	29.77	166
	7/12～7/17	72.11	235
H23	5/10～5/13	118.67	233
	7/7～7/8	13.43	78
	9/2～9/5	14.43	113
H24	9/20～9/22	14.43	175
	7/6～7/7	21.04	54
H25	9/20	10	0
	6/18～6/21	41.59	230
	7/6～7/8	54.18	118
	7/28	6.22	73
	8/23～8/25	129.98	542
	8/30	34.98	294
	10/23	16.66	176

※総雨量は浜田ダム地点での観測値です

ダム放流の様子

撮影日時：8月24日11時 放流量：125.7m³/s



浜田ダムに関する施設の紹介

浜田ダム管理所では、ダムの他にも多くの施設を管理しています。

浜田の街の中にも、下の写真に示す各施設が設置してあります。

放流のとき、お知らせの放送やサイレンを鳴らします。河内・黒川・道分山のほか、浜田ダム管理所・浜田市役所（殿町）・浜田合庁（片庭）にも設置されています。

警報局(黒川警報局)



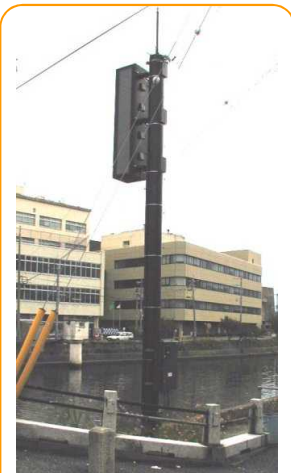
ダムの上流にあります。降雨量を観測し、ダムに流入する水の量を予測するのに活躍します。浜田ダム地点のほかに3ヶ所あります。

雨量局(嵩山雨量局)



河川に現在どのくらい水が流れているかを観測しています。浜田大橋・中芝橋の近くにあるほか、金城町にもあります。

水位局(大橋水位局)



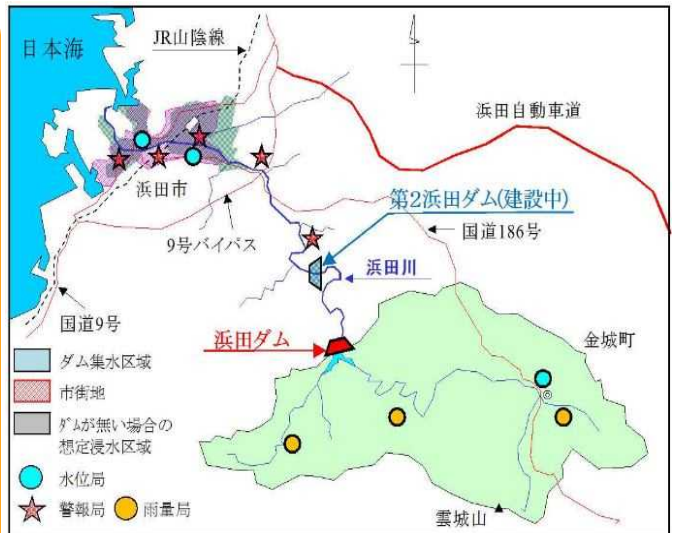
河川情報表示盤

放流の状況や、現在出ている降雨に関する注意報・警報などの情報を提供します。浜田大橋のそばに1基あります。



放流警報案内板

ダム放流の際の注意喚起と、サイレンの鳴り方が書いてあります。全部で13ヶ所に設置してあります。



☆ダム周辺の施設☆

浜田ダム周辺には警報局が5ヶ所と、雨量・水位を観測するために、雨量局が3ヶ所、水位局が3ヶ所設置されています。ダムからの放流中は警報局の赤色回転灯が回転してお知らせします。

編集後記

浜田ダムだより第18号を発行しました。昨年8月下旬に島根県西部に大きな被害をもたらした降雨は昭和63年豪雨に匹敵する25年振りの大雨となりました。浜田ダムでは、昭和38年にダムの運用を開始して以来6回目の”洪水調節（ダムへの雨の流入量が130m³/sを越える場合の放流）”を行いました。これからも、「災害はいつやってくるかわからない」ことを忘れず、適切なダムの管理に努めて行きたいと思えます。また、現在浜田ダム下流で実施中の「第二浜田ダム建設」に併せ、今年から「浜田ダム再開発」が本格的に実施される予定です。これらの情報は下記インターネットページで紹介していますので、ご覧ください。

【発行】浜田県土整備事務所 浜田ダム管理所（担当：森山、羽部）TEL (0855) 22-0136
 浜田県土整備事務所：http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kendo/
 浜田河川総合開発事務所：<http://www.pref.shimane.lg.jp/hamadakasen/>